

令和2年9月1日

九州医学技術専門学校
校長 今村 文章 殿

学校関係者評価委員会
委員長 金原 俊輔

学校関係者評価委員会報告

令和元年度学校関係者評価について、下記のとおり評価結果を報告します。

記

1. 学校関係者評価委員

委員名	所属先	役職名	備考
金原 俊輔	長崎ウエスレヤン大学	名誉教授	
中尾 暢隆	長崎医学中央検査室	部長	企業
松野 大輔	長崎セントノーヴァ病院	事務次長	同窓生
梶原 恵	神村学園高等部 大村学習センター	センター長	
奥村 亮子	一社) 日本青少年育成協会 キャリア教育委員会	長崎事業責任者	
前田 陽二	葉山町自治会		元私立高校教諭
松田 一之	長崎みなとメディカルセンター	事務部長	

2. 学校関係者評価委員会の開催状況

第1回委員会 令和2年2月7日(金) 18:00～

(九州医学技術専門学校 パソコン室)

第2回委員会 令和2年8月20日(木) 18:00～

(九州医学技術専門学校 パソコン室)

3. 学校関係者評価委員会報告

別紙のとおり

以上

令和元年度九州医学技術専門学校自己評価をもとに評価

今年度に関しては、第1回委員会にて、令和元年度前期評価について、第2回委員会にて、令和元年度全期評価について、坂口教務部長より、学校自己評価の説明が行われたのち、学校自己評価をもとに、項目別でなく、全体的な学生像についての意見が活発に出された。

《 学校教育基本方針 学校教育目標 重点努力目標 》

坂口教務部長より

評価基準は1～4にて行う。

目安は下記の通り。

4：十分に達成している

- ・目標に対して具体的方策が進行しており、当初の成果が得られていると判断される状態
- ・具体的方策を実施であり、漸次その成果を検証しつつある状態

3：おおむね達成している

- ・改善に向けて共通理解を持ち、具体的方策の実行に着手しつつある状態
- ・改善の必要性に対して理解があり、具体的方策に対して取り組もうとしている状態

2：どちらかという達成されていない

- ・改善の方向性は持っているが、共通理解が十分ではなく、全体として停滞が目につく状態
- ・改善の方向性を探っている状態

1：ほとんど達成されていない

- ・問題意識を持ってはいるが、手つかずの状態
- ・現状に満足し、問題意識にまで考えが及んでいない状態

臨床検査科

最大の目標である「臨床検査技師国家試験合格からの全員就職」に向け、1年次より様々な対策を行っている。

その最大目標を達成するための「具体的方策」と「具体的取組」を設定し、それぞれの評価を前期・年度末において行った。

卒業に関しては、100%を達成することができず、留年生5名が出てしまった。ちなみに昨年度の留年生は0名である。

国家試験合格も100%を達成することができず、84.6%に留まった。これは昨年度88.2%を下回る結果となった。

国家試験合格後の目標としては「就職」がある。しかしこちらも1名が未就職である。理由としては、未就職者の本籍地が東京都ということも有り、東京都での就職を考えている

ものの、昨今の新型コロナウイルスの影響により受験に行けない状態が続いている。逐一連絡を取り、動向を確認していく。

最大目標以外に医療人としての適切な言動も指導している。しかし、華美な頭髪が目立ち、指導に苦労している。

自己評価結果を保護者・卒業生へ配布を行っておらず、低い評価となっている。

また、内勤教員の授業評価アンケートも現在は実施を行っていない。

医療秘書科

最大の目標は「全員就職」である。そのために各種検定試験合格を目指し、指導に取り組んでいる。

検定試験に関しては、全員合格の資格もあり、全体的に全国評価を上回る結果を出すことができた。

しかし12月以降の早期就職（インターンシップ）中に、離職者が1名出てしまった。仕事に対する理想と現実のギャップが表面化したことが理由かと思われる。

以下は評価に対してご意見を頂戴したところのみ記載。

今後の課題(要望)

- ・国家試験合格率に関して、目標の90%以上と実際の84.6%は、少々開きが大きいように思います。
- ・国試合格率が良くなると全てが良い方向に回ると思う。
- ・高齢化社会が進むことに加えて今般のコロナ禍により、検査技師に対する注目・期待と需要はさらに高まると思われる。技術のみならず人格、識見ともに優秀な材の育成が望まれる。
- ・若い人が「早期離職」をしてしまうのは、どこの職場でも頭を痛めていることですので、過度にお気になさらないでいただきたいです。
- ・高齢化社会が進むなか、さらに今般のコロナ禍が加わり医療界における課題や困難さはこれまでになく深化してゆくとと思われる。そうした状況に深い理解を持ちつつ、業務に邁進する人材の育成を望みたい。

《 1. 教育課程・学習指導 》

今後の課題(要望)

- ・同学年間で、お互いに指導し合う体制（ピア・サポート）を取り入れることが可能でしょうか。
- ・少子化の影響で率直に言って、日本全国全ての学校での過去の学生と比較しての学力低下は否めない。そうしたなか国家試験という高いハードルを100%合格で超えるのは極めて困難であるが、さらに努力されることを期待したい。
- ・留年生を出さないための取り組み、国家試験合格率向上のための具体的な方策について伺いたい。
- ・20歳前後の極めて難しい年齢層の生活指導（人格教育）は困難を伴うが、社会に出て全ての局面で評価を分けるのは基本的な生活習慣や勤務に対する姿勢であり、その点学校の果た

す役割は大きいものがあり、引き続き努力されることを期待したい。

不明な点 その他

- ・就職先の病院等を対象に卒業生の働きぶり…について、聞きとり調査は「技師長」あるいは「施設長」にしていないですか？実際に対応しているのは「現場」です。現場の先輩方にも聞いてみては？
- ・秘書科「2」がついた項ですが、卒業生ではない人物の講話であっても良いのではないのでしょうか。学生たちにとって貴重な時間になると思います。
- ・検査科に比較するとどういう現場でどういう仕事をしているのか？より明確にする必要があると思います。卒業生の講話も必要と思います

《 2.生活指導 》

今後の課題(要望)

- ・挨拶はします。が、声が小さい様です。驚くほどの大きい声を出す必要はないですが、とくにマスクを着用している今は、もう少し「はっきりとした声」が必要と思います。
- ・上級生を下級生のチューターとして、学習や生活面の支援を大学で取り入れており、一定の効果上げてます。
- ・毎年臨地実習を受け入れているが挨拶はとてもよくできている。

不明な点 その他

- ・授業中のスマホ使用に関するご指導は必要ないのでしょうか？もし、ご必要がないとしたら、それはすばらしいこととおもいます。

《 3.進路 》

今後の課題(要望)

- ・病院見学は1年次行った方が良いと思いますが、現実的に40名の学生を受け入れてくれる施設はないのでは？特に6月は臨地実習もあり、難しいかと思えます。一考を。
- ・全体としては「良」。数値でしかわからないが、1or2の評価の改善必要ではないか？
- ・新型コロナウイルス影響下における、職場開拓への具体的取り組みについて伺いたい。

不明な点 その他

- ・「卒業生の就職先を訪問し～」項が連続して「2」と低いですが、時間的に実施が困難な場合、やむを得ないことと考えます。
- ・コロナ禍の現在、本年度は難しいと思う。
- ・病院見学と卒業生の就職先訪問について、今年度はコロナの影響で難しいと思うが出来なかったのはなぜか？
- ・1年次の病院見学は新型コロナウイルスの関係で当面無理と思われる。

《 5. 広報 》

今後の課題(要望)

- ・国試合格率が低迷すると学生募集は難しくなる
- ・単なる資格ではなく、一生ものの「国家資格」である事はもっと前面に出して良いと思います。
- ・在学生や卒業生の動向が分かる学校広報誌を作成し高校へ配ることは、学生確保につながると思いますが。
- ・検査科主体の CM が多い様です。こういった職種でこういった勉強をするのかもっと明確にする必要があるのでは？

不明な点 その他

- ・貴校において適切なコロナ対策を取っている旨を募集要項にお書きになってはどうかと考えます(もしお書きになっていない場合)。

《 6. 組織・運営 》

今後の課題(要望)

- ・学校評価、授業評価について実施出来るよう検討をお願いします。
- ・学生による授業評価アンケートは必要です。
- ・評価 1 についての対策

不明な点 その他

- ・「1」の項目が多いようです。「教員の授業評価アンケート」ご実施の際は、他校の例を参考になさることをお勧めします。
- ・最近、病院でもパンフレットよりもホームページの充実が求められています。
- ・対策として、どのような方向性があるのか(考えているのか)教えてほしい。
- ・自己評価結果を保護者・卒業生へ配布していない理由について、お伺いしたいと存じます。

《 7. 施設・設備 》

今後の課題(要望)

- ・「良い」とはしましたが、先日御訪問させて頂いた時に申しわけないですが「建物の古さ」を感じました。経営にかかることですので多くは申しません。安全面だけでも一考下さい。
- ・生理検査実習室の清掃をもう少しやってもらいたい。

その他、気づき

・留年が多いのが気になります。

・初めての事ですので、できる限り率直な意見を述べさせて頂きました。コロナの事もあり、問題はありますがよくやられていると思います。臨地実習の学生には「今までで一番勉強してるんじゃない？」と聞くと、皆、うなづきます。皆、がんばっている様です。学校関係者の皆様もがんばりましょう。

・教職員一丸となって学生指導に当たっておられ、いつも關心しています。

・コロナ感染対策を行いながらの授業継続と大変な状況です。学生の意欲低下が気がかりです。学生の心のケアが必要だと思います。

・新型コロナウイルスの影響により、従来行っていた就職先開拓や、生徒募集が困難な状況と察します。新たな方策を実施される際、当協会にてお役に立つ事が無いか協会内でも検討し、改めて提案させていただきます。